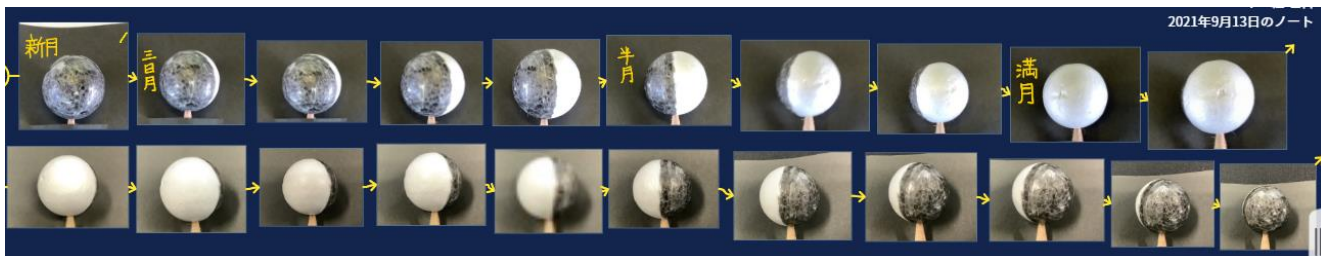


月の学習を球形の発泡スチロールで！



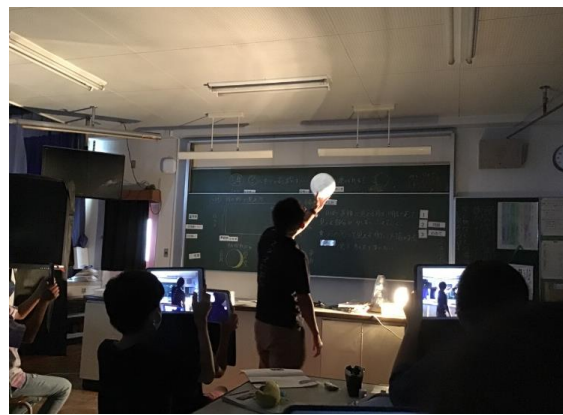
この球形の発泡スチロールはサイズも直径が2cmから5cmくらいまでいろいろあります。今回は3cmのものを使いました。

半分色を塗って鉛筆に刺します。くるくると回しながら、月の満ち欠けを表しながら、一枚一枚写真を撮っていき、上の写真のようになり、プレビュー再生したり、音楽をつけたりして、月の形の変り方が分かりやすい教材になります。みんな夢中で、コマ送り写真をiPad

で撮影していました。夏休みの研修でヒントを得て、今回は、黒画用紙を背景にして白い部分が映えるように工夫しました。また、工事現場で使うようなスポットライトを太陽に見立て、月そっくりのスタンドライトに満ち欠け



を映し出し、月を動かしながら、実際に太陽の光がどのように月に照らし出しているのかを実験しました。理科室の暗幕をして教室を真っ暗にして行う学習は、刺激があり、みんなパシャパシャ撮りながら興味を持って学習に向かっていました。



トンボの標本づくりがすごい！

夏休みの自由研究には、ノートやレポート用紙にまとめるものと、発明品ともう一つ部門があります。それは、標本です。こちらの作品は、3年ろ組の児童が作りました。本当に見事な標本。いろんなどころでトンボを追いかけて、飼育したあとに、命を大切にするという上で、このような標本を作られたそうです。しばらく理科室に飾らせていただきます。また、ぜひ見に来てください。(^-)-☆

